

2006年6月1日

株式会社ディーター コミュニケーションズ

「第5回モバイル広告大賞」決定

～計19社の受賞が決定、海外からの応募作品も受賞～

株式会社ディーター コミュニケーションズ(社長:藤田明久、本社:東京都港区、以下D2C)は、2006年5月に「第5回 モバイル広告大賞」の審査会を実施し、各部門の受賞企業を決定いたしました。

「モバイル広告大賞」は、モバイルを活用した 広告・マーケティング活動の一層の普及と発展を目的とした広告賞で、クリエイティブ部門、マーケティング部門の二部門で構成されています。3G 端末普及等によりモバイル広告が多様化したことから、今回クリエイティブ部門には新たな賞(コンテンツ型広告賞、プッシュ型広告賞)を設け、応募総数は210点と昨年より大幅に増加。また海外からの応募もありました。

その中から、マーケティング部門 マーケティング賞が7社、クリエイティブ部門 ピクチャー広告賞が7社、同部門コンテンツ型広告賞が3社、同部門プッシュ型広告賞が2社、計19社の受賞が決定いたしました。

受賞企業は以下のとおりです。(50音順)

マーケティング部門

マーケティング賞 (7社)

カルピス株式会社
信濃毎日新聞社及びキャンペーン協賛17社
ソニーコミュニケーションネットワーク株式会社
トヨタ自動車株式会社
日本マクドナルド株式会社
UFJニコス株式会社
株式会社普光(韓国)

クリエイティブ部門

ピクチャー広告賞 (7社)

アサヒビール株式会社
株式会社駅前探険倶楽部
株式会社サミーネットワークス
株式会社ハドソン
富士写真フイルム株式会社 / 富士フイルムイメージング株式会社
株式会社平和
株式会社メディア工房

コンテンツ型広告賞 (3社)

株式会社駅前探険倶楽部 / 株式会社日本航空インターナショナル
ソニーマーケティング株式会社
サントリー株式会社

プッシュ型広告賞(2社)

株式会社リクルート
株式会社新世界(韓国)



選考は、慶應義塾大学大学院 経営管理研究科 教授 嶋口 充輝氏を委員長とするモバイル広告大賞選考委員会を発足し、各部門の審査員会にて行いました。

< 嶋口充輝選考委員長の講評 >

本広告賞も5回目を迎え、応募作品が200点を超えました。作品も様々な企業から応募が集まり、モバイル広告・マーケティングが企業に広く認知されたということを強く実感しました。

今回はキャンペーン規模に関わらず、モバイルの特長をいかにマーケティングに取り入れているかということが、審査において大きなポイントとなりました。マスメディアはスペースの大きさなどが重要ですが、モバイルの場合はそれだけではなく、「今このタイミングに消費者にキャンペーン情報を届ける」という瞬間性・即効性が特長の一つとなります。その特長をうまく活かした企画や、ユーザとのより深いコミュニケーション構築など、モバイルだからこそ実現できたと思われる企画が高く評価されました。

また海外からの応募作品の評価も高く、今後は国内のみならず広く海外からの応募も増えることを願うと同時に、日本のモバイル・マーケティングの先進性をアピールできるような企画を期待しています。

今回の選考において、マーケティング部門では、マスメディアと連動させながらも、モバイルの即効性を活かしたキャンペーンや、モバイルならではのデジタルプレミアムの活用など、モバイルの特長を最大限に活かし成果をあげたマーケティング事例が評価されました。

クリエイティブ部門では、Flashを活用した広告の登場によって、完成度の高い作品や、デザイン性の高さ、キャッチコピーの魅力的な作品が受賞しました。また同部門では、今回よりFlashなどリッチコンテンツを意識した新しい賞を設けたこともあり、今後モバイル広告専門のクリエイターの登場にも、審査員からの期待が寄せられました。

なお「第5回モバイル広告大賞」贈賞式及び講評は、7月18日(火)に東京・港区の「東京全日空ホテル」にて実施を予定しています。

- * 別紙1: 受賞一覧
- * 別紙2: 「モバイル広告大賞」開催概要
- * 別紙3: 「モバイル広告大賞」選考委員会 審査員紹介

【お問い合わせ先】

株式会社ディー・ツー・コミュニケーションズ

広報宣伝部 高橋・松葉

TEL: 03-6252-3108 FAX: 03-6252-3111

URL: www.d2c.co.jp mail: press@d2c.co.jp

第5回「モバイル広告大賞」受賞一覧

◆マーケティング部門

(50音順)

賞	社名	作品名	広告会社名	制作会社名
マーケティング賞	カルピス株式会社	「カルピス」ポータルサイト構築	株式会社電通	株式会社ディーツーコミュニケーションズ
	信濃毎日新聞社及びキャンペーン協賛17社	信濃毎日新聞広告特集 「ネオジェネ[Neo Generation]～時代を拓く若い力～」	株式会社電通	株式会社電通 株式会社ディーツーコミュニケーションズ
	ソニーコミュニケーションネットワーク株式会社	So-net東京一人暮らし相談所	株式会社電通 株式会社ドリル	株式会社エンジンプラス 株式会社イクイップル
	トヨタ自動車株式会社	PLAY MUSIC PLAYER	株式会社電通	株式会社ディーツーコミュニケーションズ
	日本マクドナルド株式会社	“えびフィレオ”モバイルサイト	株式会社電通	株式会社ディーツーコミュニケーションズ
	UFJニコス株式会社	Smartplusラッキー☆プラスキャンペーン	-	株式会社ディーツーコミュニケーションズ
	株式会社普光（韓国）	フェニックスパーク リゾートモバイルメンバーシップサービス	株式会社KTFmhow	株式会社KTFmhow

◆クリエイティブ部門

賞	社名	作品名	広告会社名	制作会社名
ピクチャー広告賞	アサヒビール株式会社	アサヒ新生 1万人モニター大募集	-	-
	株式会社駅前探険倶楽部	シネマ★スタークラブ:Flashゲーム「ポップコーンスティール」告知	スパイシーソフト株式会社	株式会社ユードー
	株式会社サミーネットワークス	プラチナメロディ	株式会社日広	株式会社日広
	株式会社ハドソン	ゴルゴ13	株式会社日広	株式会社ハドソン
	富士写真フイルム株式会社	ケータイプリンタ Pivi	株式会社電通	株式会社ディーツーコミュニケーションズ
	富士フイルムイメージング株式会社			
	株式会社平和 株式会社メディア工房	平和アプリDX あなたの未来	株式会社日広 株式会社日広	株式会社日広 株式会社日広
コンテンツ型広告賞	株式会社駅前探険倶楽部 株式会社日本航空インターナショナル	JAL&駅探コラボ無料Flashゲームキャンペーン	スパイシーソフト株式会社	株式会社ユードー
	ソニーマーケティング株式会社	“W.Walkman” モバイル	株式会社電通	株式会社ディーツーコミュニケーションズ
	サントリー株式会社	新製品ペプシネックス	株式会社ジー・モード	株式会社ジー・モード
プッシュ型広告賞	株式会社リクルート	もっとおトクに「ホットペッパーポケッツ」プロモーション	株式会社電通	株式会社ディーツーコミュニケーションズ
	株式会社新世界（韓国）	2005年秋セール	株式会社KTFmhow	株式会社KTFmhow

「第5回モバイル広告大賞」概要

「モバイル広告大賞」とは…

モバイルを利用した広告・マーケティング活動の一層の普及と発展を願い2002年に創設された、日本初のモバイル広告賞です。

毎年1度実施され、モバイルを利用したマーケティング活動において優れたもの、iモードをはじめとするインターネット接続機能付き携帯電話に配信・掲出された広告の中で表現の優れたものに授与されます。

部門・賞の構成

マーケティング部門、クリエイティブ部門の二部門から構成されています。

マーケティング部門

モバイルの特長を活かしたマーケティング手法、ブランド訴求、バイラル、ユーザとのコミュニケーション構築などの視点で、顕著な効果を上げたと考えられる事例を評価する賞です。

マーケティング賞

モバイルを利用したマーケティング事例全般を対象とします。

クリエイティブ部門

モバイル広告の視覚効果、表現力、デザイン性を評価する賞です。

ピクチャー広告賞

CLICK!、PHONE!、MAIL!などのレスポンスフォーマットを含んで制作されたピクチャー広告、携帯電話向けテレビ番組表サービス「Gガイドモバイル」上に掲出されたパネル広告を対象とします。

コンテンツ型広告賞(第5回より新設)

画像やFlash、アプリ、動画などを活用し、サイト上のコンテンツとして掲出した広告を対象とします。

プッシュ型広告賞(第5回より新設)

メッセージF(フリー)やメール広告などプッシュ型のモバイル広告を対象とします。添付された画像やテキスト内の絵文字を含めたクリエイティブが評価されます。

選考方法

選考は 有識者、広告会社のクリエイティブ、SP、マーケティング担当者などからなる「モバイル広告大賞選考委員会」にて行いました。

モバイル広告大賞選考委員会

モバイル広告大賞選考委員長

・嶋口 充輝

慶應義塾大学大学院 経営管理研究科 教授

慶應義塾大学経済学部卒業後、フルブライト奨学生として渡米。慶應義塾大学、ミシガン州立大学の修士・博士課程修了後、経営学博士(Ph.D.)に。1987年より、現職。ルーベン大学(ベルギー)、ウエスタン・オンタリオ大学(カナダ)、モスクワ大学(ロシア)他の各大学院客員教授を歴任。

主な著書:『仕組み革新の時代』(有斐閣)、Marketing Channels in Japan (The UMI Research Press)、戦略的マーケティングの論理(誠文堂新光社)、統合マーケティング(日本経済新聞社)、顧客満足型マーケティングの構図(有斐閣)、営業の本質(共著)(有斐閣)、柔らかなマーケティングの論理(ダイヤモンド社)、マーケティング革新の時代 全4巻(共編著)(有斐閣)、マーケティング・パラダイム(有斐閣)など多数。

マーケティング部門

・審査員長 嶋口 充輝

慶應義塾大学大学院 経営管理研究科 教授 (モバイル広告大賞選考委員長兼務)

・審査員 恩蔵 直人

早稲田大学 商学大学院 教授

早稲田大学商学部を卒業の後、同大学大学院商学研究科へ進学。早稲田大学商学部専任講師、同助教授を経て、1996年より教授。

専攻:マーケティング 博士(商学)

主要業績:『競争優位のブランド戦略』(日本経済新聞社)、『製品開発の戦略論理』(文一総合出版)、『マーケティング戦略』(共著)(有斐閣)、『コトラーのマーケティング・マネジメント』(監修)(ピアソンエデュケーション)、『戦略的ブランド・マネジメント』(共訳)(東急エージェンシー)、『日経文庫マーケティング』(日本経済新聞社)ほか論文多数。

・審査員 内山 光司

GT INC. クリエイティブ ディレクター

1961年生まれ。1984年株式会社電通入社後、デジタルコンテンツの企画・ディレクションを行う。2001年(株)ワンスカイ設立 取締役兼クリエイティブ・ディレクターに就任。インフォメーションデザインとクリエイティビティを活かした手法で、主に広告キャンペーンの分野でウェブサイト制作およびマーケティングコンサルを手がける。NTT 東日本のガッチャマン・キャンペーン、ソニーの Connected_Identity/CAMCAMTIME、日本コカ・コーラのジョージア・シティ、富士重工業のスバルフォレスター/レガシィ、松下電工の「わが家見なおし隊」のサイトなどを企画制作。

Tokyo Interactive Ad Award グランプリ、One Show Interactive Gold Pencil、文化庁メディア芸術祭優秀賞、グッドデザイン賞他で受賞多数。

・審査員 田中 里沙

株式会社宣伝会議 「宣伝会議」編集室長

1966年生まれ。89年学習院大学卒業、広告会社を経て93年株式会社宣伝会議入社。月刊「宣伝会議」編集部配属。企業宣伝部、広告会社担当記者、海外情報デスクなどを担当。95年副編集長を経て、96年より編集長、現在に至る。2003年より季刊誌「環境会議」「人間会議」編集長を兼任。全国広報コンクール・広報紙企画部門審査委員、民放連賞 CM 部門審査員、PRアワード(日本PR協会主催)審査員、広告電通賞テレビ部門・雑誌部門審査員、JR 東日本ポスターグランプリ審査員などを務める。流行分析・情報系テレビ番組にコメンテーターとして出演。

クリエイティブ部門

・審査員長 末松 亜斗夢

株式会社アトム、オンティービー株式会社、株式会社フリップ・クリップ、電腦総研株式会社

代表取締役社長

1957年福岡市生まれ。桑沢デザイン研究所写真研究科卒業、広告制作会社を経て1983年株式会社アスキー入社。3DCGの映像制作、インタラクティブメディアの開発に従事。以降、コンピュータとグラフィックデザインの業際にかかわり、1988年アップルコンピュータジャパンでMacintosh DTPマーケティングを担当。その後独立しマルチメディア関連の制作と執筆、啓蒙活動を行う。1994年春、国内初のWebプロダクション業務を開始。現在はコンテンツ・DSにミドルウェアとして採用された世界最小のネットワーク家電向けTCP-IP OSやエンタープライズ・ラーニング、EPGソリューションの開発、携帯からもアップロードできるFlashVideoの動画サービスFlipClip、VRによる手話コミュニケーションシステムBot3D Engine for Sign Languageに注力している。

・審査員 杉山 知之

デジタルハリウッド大学 学長 / 工学博士

1954年東京都生まれ。87年よりMITメディア・ラボ客員研究員として3年間活動。90年国際メディア研究財団・主任研究員、93年 日本大学短期大学部専任講師を経て、94年10月 デジタルハリウッド設立。

2004年日本初の株式会社立「デジタルハリウッド大学院」を開学。翌年、「デジタルハリウッド大学」を開学する。

デジタルラジオ ニュービジネス フォーラム代表、福岡コンテンツ産業拠点推進会議会長を務め、また「新日本様式」協議会、CG-ARTS協会、デジタルコンテンツ協会など多くの委員を歴任。99年度デジタルメディア協会AMDアワード・功労賞受賞。

主な著書：「デジタル・ストリーム・未来のり・デザイン」(NTT出版)、「クール・ジャパン 世界が買いたがる日本」(祥伝社出版)最新刊 '06.02 他

・審査員 宮崎 光弘

株式会社アクシス アートディレクター

1957年東京生まれ。東京造形大学美術学部卒業。ファッション誌のアートディレクションに携わった後、1986年、株式会社アクシス入社。同グループのCI、デザイン誌「アクシス」のアートディレクションの他、グラフィックデザインを中心にさまざまなプロジェクトを行う。最近ではペーパーメディアのデザインに加えてマルチメディア関連のデザインも数多く手掛けている。WEBデザインとしては、「ORCA LIVE」「先見日記」(以上、NTTデータ)、「原美術館」、「CELUX」、などの開発を行う。

1999年、モリサワ「人間と文字」CD-ROMで国際マルチメディアグランプリ「F@imp99ni」金賞、「AMDアワード」ベストビジュアルデザイナー賞を受賞。

・審査員 秋山 具義

有限会社デイリー・フレッシュ 代表取締役 / アートディレクター

1966年東京秋葉原生まれ。1990年日大芸術学部卒。同年I&S入社。1999年デイリー・フレッシュ設立。最近の主な仕事に、SHARP「エコロジークラスでいきましょう。」キャンペーン、キリンビバレッジ「アミノサプリ」パッケージデザイン、ユニクロの食品事業「SKIP」のアートディレクション、歌舞伎座「十八代目中村勘三郎襲名興行」ポスター、欽ちゃん球団「茨城ゴールデンゴールズ」ロゴ、キャラクターデザイン、フリースタイルスキー選手上村愛子さんをサポートする「team-aiko」のロゴデザイン、PARCO「PARCOカードデビュー」キャンペーン等を手掛けている。www.D-FRESH.COM。

・審査員 篠崎 日向子

株式会社宣伝会議 月刊「ブレーション」編集長

聖心女子大学文学部卒業。アパレル会社を経て、1994年宣伝会議入社。月刊「宣伝会議」編集部にて、主にクリエイティブ関連の取材を担当する。1999年より月刊「ブレーション」編集部に所属。2005年に月刊「ブレーション」編集長に就任、現在に至る。